

一般社団法人戸田市薬剤師会 議事録

記録日	R1.9.24
記録者	芹澤

日時	R1.9.24 13:00~15:00	出席者	染川、野口、武長、相良、伊藤、佐貫、芹澤、宮下(由)
場所	戸田市文化会館 302 会議室		

議 題

1. 会長報告
2. 副会長・委員会報告
3. 各理事・委員会報告
4. その他

会議内容

1. 会長報告

●9/7 代表者会議にて埼玉県薬剤師会学術大会（11/10 開催）について、会員薬局の会員/非会員に広く周知するよう要請あり。10名は参加者を集いたいとの事で、理事からも参加費の補助について意見が出た。結果、先着10名について参加費（昼食代は除く）を全額補助することで決議された。

●今年埼玉県で行われる全国学校薬剤師大会について、学校薬剤師以外の会員全体にアナウンス拡大。

●南部医療圏第7次医療計画（H30~5か年）のH30年度の実績とH31年度（令和1年度）の取り組みについてがん医療、感染症、災害医療、在宅医療、医薬品等の安全対策の各項目について記載し提出する。この件に関しては染川会長と野口副会長に一任とした。

●市役所の広告つき庁舎案内板の営業で、業者が各薬局を回るとの事。個別で対応する。

2. 副会長・委員会報告

武長副会長より

●戸田東小中学校の屋内プールが稼働した。それに伴い戸田東小学校薬剤師の杉原先生が水質検査に加え塩素ガスと照度の検査を行ったとの事。

●8/16 に薬物乱用防止指導者講習会に出席。大麻事犯が増えているとの事。

野口副会長より

●災害拠点薬局としては第一薬局と決まったが、その内容の整備や計画の作りこみについて薬剤師会側と第一薬局で今後協議を重ねていく必要がある。

●9/7 県薬から緊急連絡の流れの確認時に戸田市薬剤師会で実際緊急連絡網を流した。県薬からメールにて情報を得た20分後に染川会長並びに芹澤総務委員長に情報を流し、そこから2時間以内に戻ってきた。トータルでも2時間前後で緊急連絡網が正しい内容で流れたことで、今後

緊急に全体に報告伝達する際に使用できることが確認された。

- 在宅の窓口機能を会のHPに作る。広報委員会と今後協議していく。
- 薬物乱用の資材を2000部作成中。「クラウドワークス」という業者にデザインを依頼。2-3か月の納期で4万円弱との事。印刷は「ラクスル」で数千円のコスト。今後新規で資材を作成する場合は、このコストを基準とする。

各理事委員会報告

伊藤理事より

- 戸田中央総合病院薬剤科と薬薬連携の会を10/18に開催する。現在51名の参加応募があるとの事。
- 学術委員会とのコラボ企画グループワークを来年2月に行う予定である。
- 学術研修委員会としては今年度12月、1月、2月に講演会を

佐貫理事より

- ワークショップは3名受講（戸田市健康福祉の杜祭りと同日）。
- 待機者は①コスモ調剤薬局の薬剤師②ハロー薬局の薬剤師
- 戸田市健康福祉の杜祭りに学生も参加。現在飾る絵をかいてもらっている。

芹澤総務委員長より

- 戸田市健康福祉の杜祭りはプロジェクトメンバーで会議を行い、昨年までとは少し雰囲気を変えて行うこととなった。名入りボールペンを作成した。ミニ講演会は事前に放送で予定を流してもらう事とした。

決定事項

- 埼玉県薬剤師会学術大会への先着10名の参加費補助。

検討事項

- 会営薬局開設に向けて行政との継続交渉。
- 学校薬剤師委員会組織と規約、新人の発掘育成。
- 戸田中央総合病院薬剤科との薬薬連携の深化。
- 蕨市薬剤師会との連携。
- 戸田市行政との連携。市民に見える活動。危機管理の継続協議。
- 実習生の参加できる薬剤師会事業。
- デットストックの会員薬局間の取引。
- 来年6月からの会議及び総会の場所の確保。